

令和2年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法概論Ⅱ		講義	鮫島 一雄	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>次年度の臨床実習を目前にして、今までの単なる知識の詰め込みだけでは、実際の臨床実習では不十分である。この授業では、臨床実習に必要なPT学生としての資質面および問題解決能力の向上を目的とする。そのため、今までの記憶が中心であった授業でなく、基本的な知識をすでに習得しているという前提で、小テスト・口頭試問を随時行っていく。</p>				
授業の到達目標				
<p>・理学療法用語を理解する ・理学療法過程を理解する ・理学療法過程に沿って考えられる ・臨床推論を理解する ・SOAPを理解する ・電子カルテと紙カルテの違いを知る ・診療報酬制度の概略を理解する</p>				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 理学療法業務について			
2	運動療法の歴史1（ヒポクラテスと医療倫理）			
3	運動療法の歴史2（人名のついた治療法を中心に）			
4	理学療法過程1(PDCA とEPDCAサイクル、クリニカルリーズニング)			
5	理学療法過程2（情報収集）			
6	理学療法過程3(患者の問題点の抽出) (医師からの指示・処方箋)			
7	理学療法過程4(情報の解釈/統合と解釈)			
8	評価の視点について			
9	ボトムアップからトップダウンへ 臨床推論			
10	主訴・要望・ニーズ ホープ 理学療法目標 ガイドライン クリニカルパス ロートンモデル			
11	社会保障とは 保険診療とは			
12	診療報酬 診療記録について 診療記録の書き方 電子カルテと紙カルテ			
13	POSとPOMRについてSOAPの意味と内容			
14	SOAP演習			
15	授業まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	60点以上が合格 試験内容は、小テストに準じる。		
レポート				
小テスト		授業中に数回実施する		
平常点		授業への出席状況と授業態度等		
その他				
自由記載	小テストと平常点で70点以上の場合は、定期試験を免除する			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
概説理学療法第2版	有馬慶美 編集	文光堂		
電子辞書				
自由記載	必要に応じてプリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				